

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	長野県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	信州の文化遺産を活かした地域活性化事業		【計画の改善時期】 平成34年度
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
第2次長野県教育振興基本計画（平成25年度～29年度）を踏まえ、県民の貴重な共有財産である文化財を安定的に保護し、後世に継承していくため、地域の歴史・伝統・文化を地域の文化創造や魅力づくりに活かせるよう、次の事業を実施する。 1. 信州地域史料アーカイブ構築・活用事業（平成27年度～29年度） 2. 「訪ねてみよう信州の遺跡と博物化」シールラリー事業（平成30年度～） 3. 「体験！体感！信州遺産」価値向上事業（平成25年度～）			
6 実施体制			
本事業は、長野県が計画の企画、調整及び事業の指導等を行う。 1 主な担当課、役割 長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 2 事業実施団体 長野県文化財活用活性化実行委員会 【構成団体】 長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課、長野県立歴史館、長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター、長野県文化財保護協会、NPO長野県図書館等協働機構、県立長野図書館）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 25,499 千円	平成30年度申請額： 4,017 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
・文化財を大切にする意識の醸成し、地域に対する誇りや愛着をもたらすとともに、これからの地域づくりの気運及び地域の文化財保護意識を高める契機とする。また、長野県の文化財の魅力を再発見できる機会となる。 ・長野県の旧石器時代や縄文時代などの情報を整理し発信することで、埋蔵文化財への関心を高め、地域の埋蔵文化財活用につなげる。 ・天然記念物等の映像を広く発信し、地域文化の再確認を促すとともに、地域の観光振興につなげる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	長野県立歴史館の利用者数			関連事業:	「ガイドブックで訪ねる信州の遺跡と博物館」事業	
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 102,118 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 125,000 人					
設定根拠 1 :	・長野県立歴史館が中心となってガイドブックを活用するため。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	長野駅における新幹線乗車者数 (定期外、日平均)			関連事業:		
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 6,420 人/日 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 6,500 人/日					
設定根拠 2 :	・県内広域の天然記念物に係る情報発信を行うため、主要な駅である長野駅を指標とする。 ・通勤、通学の利用者を除外するため、定期外の人数を指標する。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	「ガイドブックで訪ねる信州の遺跡と博物館」事業					実施団体：	長野県立歴史館				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	・長野県内の遺跡と出土品の地域の特徴を知ってもらうことを目的として、30年度は旧石器編を作成し、31年度以降は縄文編、弥生編、古墳のガイドブックを作成 ・県内の各エリアで代表的で地域色をよく示す遺跡と出土品（石器等）を選定し、かつ見学できる博物館をリストアップし、ガイドブックに掲載 ・ガイドブックにシールラリー用のページを設け、各エリアのシールを集められるようにする。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	ガイドブックを所持する来館者数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10,000 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業②：	多面的な映像の活用による価値発信事業					実施団体：	長野県文化財活用活性化実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度				
事業概要：	・天然記念物を中心に、普段は見ることのできない高所からの映像を樹木医等の専門的な見識を踏まえて撮影し動画を作成する。 ・市町村に動画を提供するほか、観光部局と連携し様々な場所で映像を発信する。										
評価指標区分：	・制作映像の上映会等への貸し出し（又は利用）回数等					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	・映像を掲載したHP数 ・放映場所数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 10 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 50 (単位)										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)						